

その他

編集後記

本号の TED Plaza では、持続可能な社会の実現に貢献する熱工学の研究開発について、2 件のご寄稿をいただきました。東京大学の李禮林先生からは分子内構造由来の表面増強ラマン散乱を用いた分子検出、およびその研究背景を活用して進められている動的濡れの機構理解について話題をご提供いただきました。加えて、ご自身のライフイベントについてもご紹介頂き、キャリアプランに悩む若手研究者に、さらには少子化や多様性（ダイバーシティ）の受容といった社会課題の解決に、大変参考になる貴重なメッセージをご提供いただきました。King's College London の喜多由拓先生からは固体基板上で蒸発する液滴の温度・濃度分布を定量的に把握するための赤外線サーモグラフィーおよび背景指向シュリーレンについてご紹介いただきました。母国とは異なる地で、熱工学の第一線でご活躍なさっているお二方の原稿を拝読し、二酸化炭素排出量の削減や省エネルギー化に向けて熱工学が担う役割の重要性について、あらためて認識いたしました。この度は、ご多忙にもかかわらず執筆をご快諾いただきましたこと、心より御礼申し上げます。

(編集担当委員：安藤・李)

第 101 期広報委員会

委員長：	菊川 豪太	東北大学
幹事：	川村 洋介	名城大学
委員：	安藤 詩音	九州大学
	志村 敬彬	東京大学
	出島 一仁	滋賀県立大学
	藤井 宏之	北海道大学
	三浦 正義	千葉工業大学
	李 敏赫	東京大学

©著作権：2023 一般社団法人 日本機械学会 熱工学部門